

第5学年 社会科学習指導案

1 単元名 「わたしたちの生活と情報」

2 単元について

コンピュータや携帯電話等の情報発信・通信機器の普及により、私たちの生活は格段に便利なものとなった。国内外の出来事を現地に行かずして、あたかも自分の目で見たかのように瞬時に詳細に知ることができる。そのような情報を受けることが至極当然と思えるほどに、現代社会における情報産業はめざましい発展を遂げた。

しかし、その一方で、インターネットを媒介とする犯罪は後を絶たず、自殺や殺人事件の報道が連日マスコミをにぎわわせているのも事実である。さらに、ある一つの事件の報道が連鎖的に新たな事件を生み出す場合があり、報道による二次的被害を被る人々がいることも事実である。また、例えば、外国から事件のニュースが入ると海外旅行を控える人が増えたり、災害の様子が報道されるとボランティア活動や募金活動に取り組んだり、話題の本がテレビや新聞で紹介されると購入して読んでみたり、マスコミの力は「第一勢力」と言われるように、人々に及ぼす影響はかなり強い。そういう意味で、私たちの生活はマスコミが流す情報によってコントロールされていることが多いといっても過言ではない。

本学級の児童は、総合的な学習の時間や社会科、理科などの教科の学習の中でパソコンを使用する機会が多く、インターネットで情報を収集することに慣れている。また、学校だけでなく家庭でもパソコンを使うことがあると答えた児童が、34人中14人いる。しかし、インターネットで情報を収集することに対しては、「おもしろい」「便利」「簡単」という意識の児童がほとんどであり、マイナス面にとらえている児童は全くいなかった。

指導に当たっては、まずテレビのニュース番組づくりを取り上げる。テレビ局で働く人々は、番組の取材から編集、放送に至るまで互いに連携を取り合っていること、正確な情報を早く分かりやすく伝える工夫や努力をしていることに気付かせる。次に、番組制作に際しては、視聴者側のニーズに応えることが視聴率を上げることにつながることや、制作者側の意図を反映させなければ特色ある番組をつくることはできないことに気付かせる。また、情報は自然に流れてくるものではなく、発信元があり、制作者が存在し、ある意図の基につくられているものであるという意識をもたせたい。その後、「小学生誘拐事件」を取り上げ、報道の影響について、メリットとデメリットを考えさせる。さらに、番組制作者側の「報道の自由」を優先すべきか、当事者やその家族の「プライバシーの保護」を優先すべきか、表現の自由と個人の人権尊重という相対する価値を明らかにした上で討論を行う。

情報が氾濫する現代社会において、情報の内容を自分自身で吟味・検討し、真実を見極める力を付けていくことが求められる。そういう意味で、この学習を通して、自由と人権にかかわる問題について考えさせることは、近未来の社会を形成していく一員として必要な態度や能力を育成するために重要なことだと考える。

3 単元の総括目標

報道の意義や働き、番組などの制作に携わる人々の工夫や努力について理解させるとともに、報道の在り方や情報の受け手側としての在り方について、根拠を明らかにして自分の考えをもたせる。

4 単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な思考・判断	観察・資料活用の 技能・表現	社会的事象について の知識・理解
報道の在り方について関心をもち、テレビ番組や新聞記事、資料集などを基に進んで調べようとしている。	表現の自由と個人の人権尊重という2つの価値を考慮しながら、報道の在り方について意思決定することができる。	報道について調べたことを基に、これからの報道の在り方や情報の受け手としての在り方について、根拠を明らかにして自分の考えを書くことができる。	報道の意義や働き、その仕事に携わる人々の工夫や努力について理解するとともに、報道にかかわる問題について理解することができる。

5 単元の指導計画（全11時間）

学習活動	教師の指導・支援	評価【評価方法】	時配
1 新聞に掲載されているテレビ放送の番組表を見て、どんな番組があるか話し合う。	数多くあるテレビ番組の中からのテレビ局でも必ず放送されているニュース番組に着目させることで、児童の意識を報道につなげていく。	・ ドラマやバラエティ番組と報道番組の違いを理解することができる。 【発言】	1
「テレビ局では、どのようにして番組をつくっているのだろうか？」			
2 放送局では、集めた情報をどのようにしてまとめ、放送しているのか調べる。	取材されたことは、そのままの形で伝えられるのではなく、様々な工夫が必要となることに気付かせる。 教科書や資料集にある写真などを使って、多くの人々が分担して仕事をしていることに気付かせる。	・ 番組制作に携わる人々の努力や工夫について理解することができる。 【ワークシート】	4
「視聴率を上げるための、もう一工夫とはなんだろうか？その秘密をさぐってみよう！」			
3 放送局が、よりよい番組をつくるため、視聴率を上げるために行っている工夫について調べる。	視聴者の意見や要望、疑問に答えるために、視聴者センターを設置し、よりよい番組をつくるための努力をしていることに気付かせる。また、そのようにして、視聴者のニーズに応えることが視聴率アップにつながることに気付かせる。	・ 情報を早く正確に伝えるため、視聴者のニーズに応えるためのテレビ局の工夫について理解することができる。 【ワークシート】	1
4 視聴者の一人として、番組に対する意見や感想、提言を書く。	日ごろ見ているテレビ番組の中から一つ選ばせ、番組づくりについての自分の考えを書かせ、FAXかメールで送らせる。	・ 視聴者の一人として、自分の考えを書くことができる。 【ワークシート】	1

「報道の自由」と「プライバシーの保護」, どちらを優先するべきか?!

<p>5 報道の功罪について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料を基に, 優先させる価値(立場)及び発生するメリットとデメリットを表にまとめる。 両方の立場になってそれぞれの主張を作成する。 	<p>事件の設定として, 実際に起こった「小学生誘拐事件」を取り上げることにより, 切実感をもたせるようにする。</p> <p>考えの基にする資料は教師が与え, その中から求める価値に関連するものを選択して使用させるようにする。</p> <p>「表現の自由」「個人の人権尊重」それぞれの価値を優先させた結果発生するメリットとデメリットを表にまとめさせる。</p> <p>価値とそれに結び付く行動を明確にし, 双方のメリットとデメリットを理解した上で討論に臨ませるために, 両方の立場になって主張を作成させる。</p>	<p>2</p> <p>本時</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料を基に, 求める価値につながる行動及び発生するメリットとデメリットを整理し, 表にまとめることができる。 【ワークシート】 双方のメリットとデメリットを考えた上で, 自分の立場を決定することができる。 【発言, ワークシート】
<p>6 「小学生誘拐事件発生! この事件を報道すべきか, やめるべきか」というテーマで討論を行う。</p>	<p>報道すれば, 本人はもとより家族のプライバシーが侵害される可能性は高く, 模倣・連鎖の事件が発生する可能性もあることを押さえる。報道を断念すれば, 真実を伝えたいとする番組制作者側の自由を侵害することになることを押さえる。</p>	<p>1</p> <ul style="list-style-type: none"> 事実(資料)を基に自分の考えを述べたり, 他者の考えを聞いて意見や質問を考えることができる。 【発言】
<p>7 討論を振り返り, 各立場の主張内容を踏まえ, 報道に対する自分の考えをまとめる。</p>	<p>前時の討論の内容を整理した後, 根拠を明確にしながら「情報とわたしたちの暮らし」という題で作文を書かせ, 最終的な自分の考えを書かせる。</p>	<p>1</p> <ul style="list-style-type: none"> 双方の立場の意見を聞いて考えを補強・修正し, 情報の受け手としての自分の考えをまとめることができる。 【ワークシート】

6 本時の目標

「表現の自由」「個人の人権尊重」という2つの価値を考慮しながら, 求める価値につながる行動及び発生するメリットとデメリットを整理して表にまとめることができる。

(社会的な思考・判断)

7 本時の展開 (8 / 1 1)

学習活動	教師の指導・支援															
<p>1 本時の学習課題を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「報道の自由」と「プライバシーの保護」, どちらを優先すべきか?!</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 報道の功罪について考える。 「小学生誘拐事件発生! この事件を報道すべきか, やめるべきか」 <p>2 資料を基に, 優先させる価値及び発生するメリットとデメリットを表にまとめる。</p> <p>ワークシート例 (優先させる価値及び発生するメリットとデメリット)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 35%;">報道する</th> <th style="width: 35%;">報道しない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>表現の自由を守る</td> <td style="text-align: center;">参考資料番号 ()</td> <td style="text-align: center;">× 参考資料番号 ()</td> </tr> <tr> <td>個人の人権を守る</td> <td style="text-align: center;">× 参考資料番号 ()</td> <td style="text-align: center;">参考資料番号 ()</td> </tr> <tr> <td>その他のデメリット</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>優先したいのはどちら</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3 次時の学習について知る。</p>		報道する	報道しない	表現の自由を守る	参考資料番号 ()	× 参考資料番号 ()	個人の人権を守る	× 参考資料番号 ()	参考資料番号 ()	その他のデメリット			優先したいのはどちら			<p>「小学生誘拐事件」について, テレビ番組で報道すべきかどうかという状況を設定する。</p> <p>これまでの学習から, 報道 = 情報には, 制作する立場と視聴者の立場があったことを想起させ, 感情論や偏った見方に陥らないようにさせる。</p> <p>報道をすることは, 「報道の自由」を認めることにつながり, 人々の「表現の自由」を守ることになる。報道をやめることは, 「プライバシーの保護」につながり, 「個人の人権尊重」を優先する行動であることを確認する。</p> <p>教師側から考えの基にする資料を与え, その中から求める価値に関連するものを選択して使用させる。</p> <p>「表現の自由」「個人の人権尊重」それぞれの価値を優先させた結果, 発生するメリットとデメリットを表にまとめさせる。そうすることで, 価値を意識した考え方 (事実のとらえ方) のよさに気付かせる。</p> <p>表にまとめさせる際は, 自分の考え (判断) のもととなる資料の番号を記入させ, 根拠を明確にさせる。【評価】</p> <p>「報道しない」ことによるデメリットに関する資料がないことに気付かせることで, 考えを述べるために必要な資料を見付ける力も育てるようにする。</p> <p>作成した表を基にして, 双方の立場で主張を作成することを伝える。</p>
	報道する	報道しない														
表現の自由を守る	参考資料番号 ()	× 参考資料番号 ()														
個人の人権を守る	× 参考資料番号 ()	参考資料番号 ()														
その他のデメリット																
優先したいのはどちら																

8 本時の評価

評価規準	「表現の自由」「個人の人権尊重」という2つの価値を守ることにつながる行動と発生するメリットとデメリットを考えることができる。		
評価基準 支援	A	B	C
	<p>「表現の自由」「個人の人権尊重」それぞれの価値を優先した際に発生するメリットとデメリットについて、資料を根拠に挙げながら、表にまとめている。</p> <p>考えの基になる資料として妥当かどうかを吟味させる。</p>	<p>「表現の自由」「個人の人権尊重」それぞれの価値を優先した際に発生するメリットとデメリットを整理して、表にまとめている。</p> <p>どの資料を基にして考えたのかを明確にさせる。</p>	<p>報道することが「表現の自由」を守ることにつながり、報道しないことが「個人の人権尊重」につながることに気付くことができないでいる。</p> <p>具体的な場面を想像させ、イメージ化を図る。</p>
評価方法	ワークシート（優先させる価値及び発生するメリット・デメリット）		